

第4回安中市総合計画審議会 議事概要

(以下、敬称略)

【日 時】平成25年2月1日(金) 午後1時30分～3時

【場 所】市役所本庁(保健センター)第305会議室

【出席委員】17名(小竹、折茂、奥原、中島、田島、有阪、三澤(利)、保々、小俣、
三澤(美)、森田、金田、大木、武井、羽毛田、斉藤、大塚)

【欠席委員】3名(須賀、山縣、猿谷)

【事務局】4名(総務部長、企画課長、企画調整係長、担当職員)

【コンサルタント】2名(システム科学コンサルタント(株)研究員)

【配付資料】

次第

- 1 安中市総合計画後期基本計画(案)
- 2 安中市総合計画(後期基本計画)策定のための意見募集(パブリックコメント)の結果について
- 3 安中市総合計画(総論)
- 4 安中市総合計画後期基本計画(案)について(答申)

【会議経過】

1 開会(司会進行:総務部長)

2 挨拶(会長)

3 協議事項(議長:会長)

- ・協議に先立ち、会長が議事録署名人として保々委員、小俣委員を指名した。

(1) 総合計画後期基本計画(答申案)について

＜説明＞コンサルタント・事務局

○資料1 安中市総合計画後期基本計画(案)

○資料2 安中市総合計画(後期基本計画)策定のための意見募集(パブリックコメント)の結果について

- ・前回の総合計画審議会でもいただいた意見と、その後に委員からいただいた意見を、計画案に反映した。主な変更点は、「基本目標3-基本政策9-【2】文化財保護」の現況と課題の記述を充実したことと、指標名・現状値・目標値が入っていなかったところに追加記載したことなどである。
- ・今回の資料には間に合わなかった修正箇所がある。1つめに、「基本目標1-基本政策4-【1】防犯対策」の施策展開の方向「(3)地域防犯環境の整備」について、「暴力団排除条例」は昨年12月に制定されたので記述を改めたい。2つめに、「基本目標4-基本政策13-【1】観光の振興」の施策展開の方向「(1)観光基盤の整備」と「(2)歴史的文

化遺産観光ネットワークの構築」の文章を一部改めたい。

- ・このほか、前回資料とした安中市総合計画（後期基本計画）策定のための意見募集（パブリックコメント）の結果の一部について、市の考え方を追加・変更した。

＜協議結果＞

- ・委員からの質問・意見はなく、事務局の提案通りに決定した。

（２）その他

①総合計画総論（案）について

＜説明＞コンサルタント

○資料３ 安中市総合計画（総論）

- ・総論は、いわば後期基本計画のイントロダクションである。時代の潮流や本市の概況、５年間のまちづくりの課題を整理している。
- ・前回審議会の意見を踏まえて、記述の順番の入れ替え、見出しの変更などを行った。
- ・主な変更点は、各章に何が書いてあるかというリード文を追加したことと、「１．時代の潮流」の部分に「国際化」に関する記述を追加したことである。このほか、「２．安中市の概況」の部分に、未来の見通しを、データではなく、「～と予測されています」という文章で示した。

＜協議結果＞

- ・「３．まちづくりの基本的な課題－（４）活力のあるまちづくり」に関連して、北関東自動車道の開通によって、関越自動車道と東北自動車道等がつながったことにより、本市は、首都圏、信越・北陸・関西方面だけでなく、東北方面からも顧客を取り入れやすくなったので、このことを記述した方が良いのではないか。大河ドラマ「八重の桜」に絡めて、東北地方もターゲットに入れていくことが必要ではないか。基本計画の「基本目標４－基本政策１３－【１】観光の振興」にも合わせて、記述した方が良いと思う。〔委員〕

→ご指摘をふまえて修正したい。〔事務局〕

- ・前回の審議会後に意見を提出し、すでに修正されていることだが、お尋ねしたい。現行の総合計画の策定時、「時代の潮流」に書かれていた「国際化の進展」に関する記述が、今回無くなっていたのはなぜか。記述を戻して良い形になったと思う。〔委員〕

→現行計画では、「少子高齢化」と「国際化」が並列されていたが、少子高齢化は全国的大きな問題であるため、今回の後期基本計画策定にあたっては、記述を整理するなかで、並列にせず盛り込まなかった。しかし、委員からの指摘を受けて記述を戻した次第である。〔コンサルタント〕

②答申書（案）について

＜説明＞事務局

○資料４ 安中市総合計画後期基本計画（案）について（答申）

- ・資料4は、安中市総合計画後期基本計画（案）についての答申の鏡文である。現行計画策定時の答申書を踏襲して作成したものである。

＜協議結果＞

- ・鏡文中、本審議会が後期基本計画を「調整しました」では弱いので、「作成しました」とした方が良いのではないかと。〔委員〕
 - 計画の実施に最大の「努力をお願いいたします」というのも弱い。しかし他に良い言葉が浮かばない。〔委員〕
 - 「調整」は「作成」に変更する。〔事務局〕
- ・安中市は人口が減っていくばかりであるが、今後5年間、隣接する高崎市からどんな影響があるだろうか。また、旧安中市と旧松井田町は、まだそれぞれ独自に動いている部分が多いので、何とか一つにならないものだろうか。〔委員〕
 - 行政改革の審議会でも、活動団体の既得権益が話題になっているが、現在は、団体への補助ではなく、実施する事業自体に補助金を出す方向に向かっている。組織自体の運営支援は打ち切るという方向にある。〔委員〕
 - 合併後5年経っても、旧市町のままになっているものがある。〔委員〕
 - 商工会が2つあることがその最たる例だ。〔委員〕
 - 商工会は国が行政指導でつくったのに、合併時になると、商工会ごとに勝手に合併するよう言うのはおかしい。〔委員〕
 - 市民の意識改革が進まないと難しいことがあるだろう。〔委員〕
 - それには時間がかかる。〔委員〕
 - 北九州市は14市が合併して30～40年前にできたが、合併の成果が出たのは20年後くらいで、今は中国と盛んに取引をしている。人間が世代交代して、旧市町の人たちが融合していったようだ。今は時代の回転が早いので、安中市ではもっと早く進むよう期待したい。〔委員〕
- ・今後、総合計画の進行状況を報告してはどうか。〔委員〕
 - 中間報告など開いても良いかもしれない。〔委員〕

4 その他

＜事務局より、本日の結果を反映し、2月8日に市長へ答申する旨を説明＞

＜市長挨拶＞

- ・全4回に渡り審議をたまわり感謝申しあげる。後期基本計画は、今後5年間の本市の重要な指針であり、財政問題の道標となるものである。着実に実施することが行政の責務と考えている。

5 閉会

以上

議事録署名人 保々喜久治
議事録署名人 小成 哀子